



進路、地域だより

かけはし No.6

発行：令和8年9月30日
横浜市立左近山特別支援学校
進路、地域部

地域活動ホームのお祭り

9月12日（土）旭区の社会福祉法人型地域活動ホーム「サポートセンター連」にて、お祭りが開催されました。本校職員も出店のお手伝いをさせていただき、地域のみなさまや利用者の方々と交流する貴重な機会となりました。当日は模擬店や催し物などで、会場がにぎわい、たくさんの笑顔が見られました。

地域の事業所で行われるお祭りは、楽しみながら地域とのつながりを深めたり、事業所の活動や雰囲気を知ったりすることができるよい機会です。また、卒業後の生活をイメージするきっかけにもなります。

秋は、多くの事業所でお祭りやイベントが開催される季節です。ご都合が合いましたら、ぜひ足を運び、地域の方々との交流を楽しんでみてはいかがでしょうか。

※お祭りの情報はすぐーるにて随時配信していますので、ご確認ください。



左近山小学校交流事前講話（2）

左近山小学校の4年生・6年生と本校小学部との交流に向けて、9月8日（火）に左近山小学校を訪問し、本校の紹介や交流を楽しむためのポイント、交流する際に心掛けてほしいことなどについて話をしました。1年ぶりの交流となるため、子どもたちはお互いに緊張している様子が見られます。そこで、交流を楽しむためには、まず相手と仲良くなるのが大切であることを伝えました。また、緊張をほぐすための声のかけ方や、互いのことを知るためにはどのような質問をするとよいかを考える時間も設けました。さらに、特別支援学校で使われている設備や道具を紹介し、「ユニバーサルデザイン」についても学びました。

ユニバーサルデザインとは、年齢や障害の有無にかかわらず、だれもが使いやすいように工夫されたデザインのことで、子どもたちは、身の回りにもさまざまなユニバーサルデザインが取り入れられていることを知り、理解を深める機会となりました。



都筑区自立支援協議会進路部会

8月24日（月）移行支援に関する情報共有を図り、それぞれの立場から課題やニーズについて協議することを目的として、都筑区自立支援協議会進路部会が都筑区役所で開催されました。

横浜市内の福祉事業所で実施される実習については、市内在住の生徒が在籍する特別支援学校等において、実習期間等の共通ルールが定められています。本部会では、その内容について共通理解を深めるため、進路担当者が福祉事業所職員や区役所職員等に説明を行いました。

また、卒業後の日中活動先の受け入れ状況が年々厳しさを増しており、喫緊の課題となっていることについても共通理解を図りました。市内の特別支援学校等における児童生徒数の推移データを示しながら、今後、卒業生数が大幅に増加する見込みであることを伝え、受け入れ体制の充実に向けた課題について共有しました。

引き続き、関係機関との連携を深めていきたいと思います。



裏面があります

9月14日(月)港南区社協あんしんセンター専門員の足立さんをお招きし、「成年後見制度」についてお話をいただきました。

成年後見制度は、本人の思いや希望を大切にしながら、契約や各種手続き、財産管理などについてサポートを受けられる制度です。将来、「親亡き後」の生活や暮らしを支える制度の一つとして、多くの方に活用されています。「親亡き後」と聞くと、まだ先のことに感じられるかもしれません。しかし、いざというときに慌てないためにも、このような制度があることを知っておくことは大切です。

質疑応答では、制度の利用を考え始める時期として、保護者が60代となり、年金を受給する頃を一つの目安として、その前から少しずつ準備を始めるとよいとのことでした。



令和8年度第2回 保護者進路学習会・特別支援教育コーディネーター懇談会

10/16日(金)に第2回保護者進路学習会・特別支援教育コーディネーター懇談会を開催します。以下のような流れになっています。

10:00～11:00 高等部卒業後の進路についてパートⅡ 【本校進路専任】

11:00～11:10 休憩

11:10～11:40 移動情報センターの活用と移動手段について 【移動情報センターの職員】

11:40～12:00 意見交換

12:00 終了

参加申し込み締切りは10/2(金)となっております。詳しくはすぐーるの配信をご覧ください。ご参加お待ちしております。



横浜市立左近山特別支援学校 進路、地域部 ～お気軽にご相談ください～

結城(特支CO)・高橋(進路専任)

大橋・太田・山村(小学部) 永野(中学部) 竹田(高等部)